



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月8日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所
 コード番号 7266 URL <https://www.imasen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 櫻井孝充
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 井上達嗣
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
 TEL 0568-67-1211

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	22,354	1.3	555		123	84.1	270	
2022年3月期第1四半期	22,649	19.1	448		776		344	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 871百万円 (49.7%) 2022年3月期第1四半期 1,732百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	11.77	
2022年3月期第1四半期	15.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	82,411	50,498	60.9	2,181.71
2022年3月期	80,157	49,777	61.7	2,150.02

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 50,164百万円 2022年3月期 49,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		5.00	15.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		7.50		7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,300	7.0	990		700		1,390		60.45
通期	96,700	13.6	100		330	46.5	930		40.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	23,475,352 株	2022年3月期	23,475,352 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	482,017 株	2022年3月期	482,005 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	22,993,335 株	2022年3月期1Q	22,971,558 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が抑制され、社会経済活動に持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢などの地政学リスクも重なり、不確実性が大きく依然不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましても、半導体供給不足による自動車生産台数の減少、原材料価格の高騰、国際物流の混乱が見込まれており、引き続き厳しい経営環境が予想されます。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は22,354百万円（前年同期比1.3%減）、営業損失は555百万円（前年同期は448百万円の利益）、経常利益は123百万円（前年同期比84.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は270百万円（前年同期は344百万円の利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(a) 日本

主要顧客の自動車生産台数が前年同期と比べ減産となったことにより、売上高は8,006百万円（前年同期比8.3%減）となり、営業損失は103百万円（前年同期は46百万円の損失）となりました。

(b) 北米

港湾問題による輸送コストの増加により、売上高は5,778百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失は1,103百万円（前年同期は144百万円の損失）となりました。

(c) アジア

原材料価格の高騰により、売上高は8,570百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は604百万円（前年同期比25.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第1四半期末における総資産は、82,411百万円（前期末比2,253百万円の増加）となりました。流動資産は、現金及び預金の減少（235百万円）、受取手形及び売掛金の増加（401百万円）、棚卸資産の増加（1,871百万円）などにより、55,705百万円（前期末比1,962百万円の増加）、固定資産は、有形固定資産の増加（214百万円）などにより、26,705百万円（前期末比290百万円の増加）となりました。

(ロ) 負債

当第1四半期末における負債は、31,913百万円（前期末比1,533百万円の増加）となりました。流動負債は、電子記録債務の増加（1,071百万円）などにより24,577百万円（前期末比1,723百万円の増加）、固定負債は、長期借入金の減少（161百万円）などにより7,335百万円（前期末比190百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第1四半期末における純資産は、50,498百万円（前期末比720百万円の増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果減少した資金は、50百万円（前年同期は1,153百万円の増加）、投資活動の結果減少した資金は、459百万円（前年同期比13.3%増）、財務活動の結果減少した資金は、148百万円（前年同期比86.9%減）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は18,196百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、50百万円の減少となりました。これは主として、仕入債務の増加額が1,049百万円であったものの、棚卸資産の増加額が1,313百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、459百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が401百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、148百万円の減少となりました。これは主として、長期借入れによる収入が200百万円、長期借入金の返済による支出が468百万円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表しました予想から変更はございません。なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,710	19,475
受取手形及び売掛金	15,592	15,994
電子記録債権	4,623	4,742
棚卸資産	12,412	14,283
その他	1,691	1,507
貸倒引当金	△288	△297
流動資産合計	53,742	55,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,912	6,931
機械装置及び運搬具(純額)	4,920	4,810
その他(純額)	8,612	8,918
有形固定資産合計	20,445	20,660
無形固定資産		
その他	476	532
無形固定資産合計	476	532
投資その他の資産		
投資有価証券	4,822	4,773
その他	701	767
貸倒引当金	△30	△27
投資その他の資産合計	5,492	5,512
固定資産合計	26,414	26,705
資産合計	80,157	82,411
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,077	8,661
電子記録債務	5,072	6,143
短期借入金	4,121	4,552
未払法人税等	387	317
賞与引当金	975	399
製品保証引当金	458	441
その他	3,761	4,061
流動負債合計	22,853	24,577
固定負債		
長期借入金	3,725	3,563
退職給付に係る負債	1,709	1,739
その他	2,091	2,032
固定負債合計	7,525	7,335
負債合計	30,379	31,913

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,289	7,289
資本剰余金	7,041	7,041
利益剰余金	30,367	29,981
自己株式	△389	△389
株主資本合計	44,310	43,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,742	1,684
為替換算調整勘定	3,162	4,350
退職給付に係る調整累計額	221	204
その他の包括利益累計額合計	5,126	6,240
非支配株主持分	341	333
純資産合計	49,777	50,498
負債純資産合計	80,157	82,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	22,649	22,354
売上原価	20,397	21,189
売上総利益	2,252	1,165
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	527	479
給料手当及び賞与	517	546
賞与引当金繰入額	63	62
退職給付費用	21	15
減価償却費	33	37
その他	640	579
販売費及び一般管理費合計	1,804	1,720
営業利益又は営業損失(△)	448	△555
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	75	90
為替差益	162	539
その他	100	54
営業外収益合計	376	721
営業外費用		
支払利息	37	39
その他	10	3
営業外費用合計	48	43
経常利益	776	123
特別利益		
固定資産売却益	6	13
投資有価証券売却益	0	0
特別利益合計	7	14
特別損失		
固定資産処分損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	782	136
法人税、住民税及び事業税	407	406
法人税等調整額	18	△15
法人税等合計	426	391
四半期純利益又は四半期純損失(△)	356	△254
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	16
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	344	△270

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	356	△254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	△57
為替換算調整勘定	1,178	1,199
退職給付に係る調整額	△10	△16
その他の包括利益合計	1,376	1,126
四半期包括利益	1,732	871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,700	843
非支配株主に係る四半期包括利益	32	28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	782	136
減価償却費	854	690
賞与引当金の増減額(△は減少)	△611	△575
受取利息及び受取配当金	△113	△127
支払利息	37	39
雇用調整助成金	△85	△60
固定資産処分損益(△は益)	△5	△12
売上債権の増減額(△は増加)	2,525	242
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,328	△1,313
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,258	1,049
その他	536	313
小計	1,332	383
利息及び配当金の受取額	101	118
利息の支払額	△38	△40
法人税等の支払額	△267	△540
雇用調整助成金の受取額	26	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,153	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△19	26
有形固定資産の取得による支出	△295	△401
投資有価証券の取得による支出	△27	△30
その他	△63	△54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△406	△459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△202	349
長期借入れによる収入	40	200
長期借入金の返済による支出	△487	△468
リース債務の返済による支出	△201	△77
配当金の支払額	△229	△114
その他	△57	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,138	△148
現金及び現金同等物に係る換算差額	463	400
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72	△259
現金及び現金同等物の期首残高	18,831	18,455
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△0	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,902	18,196

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2016-02号「リース (Topic 842) の適用」)

米国会計基準を適用している在外子会社において、ASU第2016-02号「リース (Topic 842)」を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、借手は原則としてすべてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当該会計方針の変更が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,730	5,716	8,203	22,649	-	22,649
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,158	6	1,571	4,736	△4,736	-
計	11,889	5,722	9,775	27,386	△4,736	22,649
セグメント利益又は損失(△)	△46	△144	810	619	△171	448

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,006	5,778	8,570	22,354	-	22,354
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,735	9	1,194	4,939	△4,939	-
計	11,741	5,787	9,764	27,293	△4,939	22,354
セグメント利益又は損失(△)	△103	△1,103	604	△602	46	△555

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。